

緑肥を活用したハウスでの土づくり

～日高の気候に適した緑肥導入の検討～

(本所地域第一係)

◆活動年次：令和2年～令和4年

◆対象：新ひだか町・新冠町

1 活動の背景

涼夏少雪の新ひだか町・新冠町・・・野菜や花きなどの施設園芸が盛んな道内有数の産地



JA しずない



JA みついし



JA にいかつぶ

冬場も栽培できる品目を選んで、ハウスを利用しているよ



農業者

しかし...



農業者

連作年数が長くなっているし、
土壌には負担をかけているかも...

堆肥は活用してきたけど、他に
土づくりにできることはなんだろう？

【提案】

緑肥によるハウスでの土づくり
・・・日高の気候に適した栽培方法
目的に応じた緑肥の選定



普及指導員

2 活動の経過

提案①：越冬作型での緑肥活用（令和2年～ JAしずない）

冬場の日照時間の多さを活かし、土づくりにつなげる！



11月播き緑肥を越冬



農業者・関係機関との現地研修会



後作ミニトマトの根張りも確認

提案②：夏場に短期間での緑肥活用（令和4年～ JAみついし）

地域に適した緑肥品目の選定と、短期間での活用を検討



6月播きで緑肥品目を検討



種苗メーカーと連携



後作デルフィニウムへの影響確認

3 成果の具体的内容

①越冬作型での緑肥活用

2カ年の取り組みから、地域内での越冬緑肥の導入目安が整理できた。
連作回避と土壌環境改善を目的とした越冬緑肥栽培が地域全体に波及！

表 越冬緑肥導入の目安

11月			12月			1月			2月			3月			4月
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;"> かん水 たつぷり </div> <div style="flex-grow: 1; text-align: center;"> <p>緑肥の生育が順調なら、基本的にかん水必要なし</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;"> すき込み </div> </div>															
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; background-color: #fff9e6; display: inline-block;"> <p>一重被覆でも側窓閉鎖継続により生育順調 散播は種により、雑草抑制や水分保持に効果あり</p> </div>															
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; background-color: #e0f0ff;"> ロータリ2回以上 腐熟期間は最低1ヶ月 </div> </div>															

ちゃんとしたやり方が
わかってよかったよ



農業者

②夏場に短期間での緑肥活用（JAみついし・JAにいかっぴ）

【花きハウスでの利用】

短期間栽培に適した緑肥展示ほを種苗メーカー・関係機関と
連携して設置し、情報共有
ハウスの側窓開閉を調節すると、は種～腐熟完了まで
『最短2ヶ月』で実施可能なことが実証！

【休閒緑肥として利用】

6月播きで生育期間2ヶ月設けると、生育旺盛！



約2ヶ月生育したパールミレット



すき込みから3ヶ月後の残渣



約40日で十分な生育確保
(えん麦野生種・ガシ・パールミレット)

パールミレットの残渣が目立つなあ…
これは大丈夫なのかい？

農業者

後作は問題なく順調だったので、
悪影響の心配はありませんよ



普及指導員

4 今後の課題



土壌水分不足で生じた発芽ムラ

緑肥は土づくりになるからいいよね！
日高ならではの天気も活かしていいよ



農業者



農業者

初めてやってみたら、発芽を揃えるのが
難しかった…どうやったらうまくいかな

皆さんが効果的に緑肥を活用するために、
さらなる検討を進めていきましょう



普及指導員

- ①地域の気候を活かした、様々な作型における緑肥導入の目安整理
- ②緑肥栽培の基礎情報とあわせた、地域全体での情報共有
- ③目的に応じた緑肥品目を選定する、農業者の技術支援
→日高中部地区農業改良連絡協議会の研修会なども活用



令和4年土づくり研修会